

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-88948

(43)公開日 平成11年(1999) 3月30日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

F I

H 0 4 Q 7/38

H 0 4 B 7/26

1 0 9 M

A 6 3 F 9/22

A 6 3 F 9/22

G

審査請求 有 請求項の数4 OL (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平9-237284

(22)出願日 平成9年(1997)9月2日

(71)出願人 397029323

日本フレックス株式会社

池田市石橋1丁目23番10号

(72)発明者 岡 隆宏

池田市石橋1丁目23番10号 日本フレック

ス株式会社内

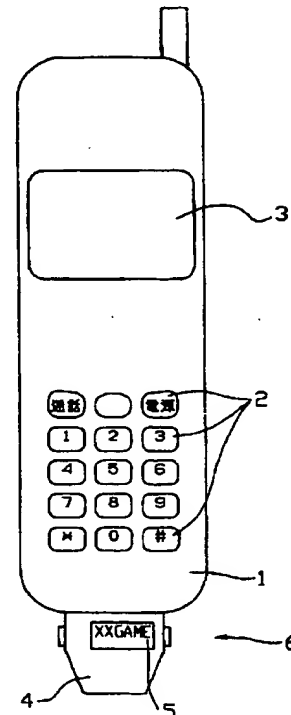
(74)代理人 弁理士 藤本 昇 (外2名)

(54)【発明の名称】 移動通信端末用データ供給装置及び移動通信端末

(57)【要約】

【課題】 小型で持ち運びに嵩張らないゲームなどのデータ供給装置を提供する。

【解決手段】 表示装置3 と番号キー2,2...を具備する携帯式の移動通信端末本体1 に着脱自在であり、移動通信端末本体1 に供給すべきデータ、移動通信端末本体1 の番号キー2,2...に関するデータ、並びに該番号キー2,2...に関するデータに対応する表示データを記憶する記憶装置とを具備しており、番号キー2 への入力に応じて表示データを移動通信端末本体1 の表示装置3 に表示可能であることを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 表示装置(3)と番号キー(2,2...)を具備する携帯式の移動通信端末本体(1)に着脱自在であり、移動通信端末本体(1)に供給すべきデータ、移動通信端末本体(1)の番号キー(2,2...)に関するデータ、並びに該番号キー(2,2...)に関するデータに対応する表示データを記憶する記憶装置(17)とを具備しており、番号キー(2)への入力に応じて表示データを移動通信端末本体(1)の表示装置(3)に表示可能であることを特徴とする移動通信端末用データ供給装置。

【請求項2】 前記記憶装置(17)からのデータを処理して移動通信端末本体(1)に供給する演算処理部(18)が更に設けられてなる請求項1記載の移動通信端末用データ供給装置。

【請求項3】 表示装置(3)と番号キー(2,2...)を具備する携帯式の移動通信端末本体(1)において、移動通信端末本体(1)に供給すべきデータ、移動通信端末本体(1)の番号キー(2,2...)に関するデータ、並びに該番号キー(2,2...)に関するデータに対応する表示データを記憶する記憶装置(17)とを具備しており、移動通信端末本体(1)に接続され、前記番号キー(2)への入力に応じて表示データを移動通信端末本体(1)の表示装置(3)に表示可能であることを特徴とする移動通信端末。

【請求項4】 前記記憶装置(17)からのデータを処理して移動通信端末本体(1)に供給する演算処理部(18)が設けられてなる請求項3記載の移動通信端末。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、移動通信端末にゲーム等の特殊機能を付加可能なデータ供給装置、及びデータ供給装置を付加された移動通信端末に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の携帯式のゲーム装置の例として、図3に示すように操作ボタン12と表示装置13とが付属されたゲーム装置本体11に、ゲームのプログラムが記憶されたカセット形の記憶媒体14が挿入され、ゲームを始動するのに必要なデータをゲーム装置本体11に内蔵された読み込み装置が記憶媒体14から読み取ることによってゲームを行うものがある。また、ゲームの種類によっては、対戦型のゲームがあり、このようなゲームに対応するため、ゲーム装置本体11同士をケーブルで接続することによってゲーム装置本体同士11で対戦することを可能とするものもある。

【0003】また、対戦型のゲームに対応するため、ゲーム装置本体11に更に赤外線通信装置が付加され、二個のゲーム装置本体11同士で対戦してゲームを行うことができるものもある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、前記ゲーム装置本体11は、複数のゲームを順次行うため使用者が記憶

媒体14を複数保持することになるが、記憶媒体14はカセット形で大きく、嵩張ってしまうという問題がある。

【0005】また、ゲーム装置本体11同士をケーブルで接続するものにあつては、ケーブルで接続することが面倒であるばかりではなく、ゲーム装置本体11,11間がケーブルでつながれているために操作性が悪いという問題がある。

【0006】また、ゲーム装置本体11に赤外線通信装置が付加されているものにあつては、赤外線が1~3m程度の近距離でしか通信することができず、従って、遠隔地の人とは対戦型のゲームを行うことができないという問題がある。

【0007】本発明は、以上のような問題点を解決するためになされたもので、小型で持ち運びに嵩張らないゲーム等のデータ供給装置を提供することを課題とする。

【0008】また、本発明の他の課題は、遠隔地においても通信することが可能な機能を有するゲーム等のデータ供給装置を提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するためになされた本発明に係る移動通信端末用データ供給装置は、請求項1に記載の如く、表示装置3と番号キー2,2...を具備する携帯式の移動通信端末1に着脱自在であり、移動通信端末1に供給すべきデータ、移動通信端末1の番号キー2,2...に関するデータ、並びに該番号キー2,2...に関するデータに対応する表示データを記憶する記憶装置17とを具備しており、番号キー2への入力に応じて表示データを移動通信端末1の表示装置3に表示可能であることを特徴とする。

【0010】ここで、「携帯式の移動通信端末」とは、携帯電話やパーソナルハンディホンシステム等のデータ(音声を含む)の送受信を行うことが可能な通信端末を意味し、「番号キー」とは、携帯電話等であれば番号を入力するためやオンオフを行うためのキー等の各種キーを意味し、電話以外の通信端末であれば通信を行うために必要なキーを意味する。

【0011】このように、データ供給装置が移動通信端末1に着脱自在であるから、使用しないときには、データ供給装置を移動通信端末1から取り外して、移動通信端末1を単体で使うことができ、邪魔にならない。

【0012】また、番号キー2への入力に応じた表示データを移動通信端末1の表示装置3に表示させることができるので、使用者は、別の操作キー等を必要とせず、移動通信端末1の番号キーを用いてデータ供給装置のデータを引き出す等の操作を行うことができる。

【0013】また、本発明に係る移動通信端末用データ供給装置は、請求項2に記載の如く、前記記憶装置17からのデータを処理して移動通信端末1に供給する演算処理部18が設けられていることが、記憶させたデータを移動通信端末本体1で処理する必要がなく、従って移動通

信端末本体1の演算処理装置8を変更する等の移動通信端末本体1の物理的な変更を必要としないため好ましい。

【0014】本発明に係る移動通信端末としての特徴は、請求項3に記載の如く、表示装置3と番号キー2、2…を具備する携帯式の移動通信端末本体1において、移動通信端末本体1に供給すべきデータ、移動通信端末本体1の番号キー2、2…に関するデータ、並びに該番号キー2、2…に関するデータに対応する表示データを記憶する記憶装置17とを具備しており、移動通信端末本体1に接続され、前記番号キー2への入力に応じて表示データを移動通信端末本体1の表示装置3に表示可能であることを特徴とする。

【0015】このように、データ供給装置の記憶装置17にデータを記憶させるので、移動通信端末本体1の記憶装置7にデータ供給装置のデータを記憶させる必要がなく、従って、移動通信端末本体1内の記憶装置に新たにデータを記憶させることがないため好ましい。

【0016】前記記憶装置17からのデータを処理して移動通信端末本体1に供給されるように演算処理部18が設けられていることが、記憶させたデータを移動通信端末本体1で処理する必要がなく、従って移動通信端末本体1の演算処理装置8を変更する等の移動通信端末本体1の物理的な変更を必要としないため好ましい。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施形態について図面に基いて説明する。図1は本発明に係るデータ供給装置の一実施の形態を移動通信端末に取り付けた状態の正面図を示し、図2は本発明に係るデータ供給装置と移動通信端末の内部接続構造のブロック図を示す。

【0018】図1において、1は例えば携帯電話で構成されている移動通信端末本体を示し、2は移動通信端末本体1の番号等の番号キーを示し、3は移動通信端末本体1に時間、受信状況等を表示する液晶表示装置等から構成される表示部を示す。

【0019】また、4は合成樹脂等から構成されるデータ供給装置ケースを示し、該データ供給装置ケース4内には、図2に示すように、移動通信端末本体1のインターフェースコネクタ9に接続可能な接続端子19と、予めゲーム等の所定のプログラムが記憶された例えばROM等の記憶装置17と、該記憶装置17のデータを処理するための、例えばCPU等の演算処理装置18とが設けられて、本発明に係るデータ供給装置6が構成されている。このように、データ供給装置6を構成するものは小型であるから、データ供給装置ケース4も図1に示すように、手の中に収まる程度の小型に形成される。

【0020】そして、データ供給装置6の記憶装置17には、ゲーム等のプログラムの他、番号キー2、2…の入力に対して表示装置3にどのような表示をさせるかに関するデータが予め記憶されている。

【0021】また、データ供給装置ケース4の表面には、図1に示すように、データ供給装置6に記憶されているプログラムの名称等が記録されたタグ5が固着されている。そして、データ供給装置6に移動通信端末本体1が取り付けられることにより、データ供給装置6と移動通信端末本体1とから構成される移動通信端末が完成する。

【0022】次に、データ供給装置6を取付けた移動通信端末本体1のデータの供給方法について、図2を参照しながら説明する。本実施の形態においては、記憶装置7に通信以外の特殊機能として、ゲームのプログラムが記憶されている場合について説明する。まず、データ供給装置6の電極端子19を移動通信端末本体1のインターフェースコネクタ9に接続する。所定の番号キー2（例えば「電源」ボタン）を押すことによりゲームが始動する。このように、データ供給装置は移動通信端末本体1に取付けられ、且つその操作には移動通信端末本体1のキーを使用するため別の操作キー等を必要とせず、移動通信端末本体1の番号キーを用いてデータ供給装置のデータを引き出す等の操作を行うことができる。

【0023】ここで、データ供給装置6の記憶装置17には、上述のようにゲーム等のプログラムの他、番号キー2、2…に対応した表示データが記憶されており、操作者の番号キー2への入力に応じて、表示装置3にどのような表示をさせるかが予め設定されている。そして、操作者が押す番号キー2に応じて予め記憶装置17に記憶された表示データが移動通信端末本体1の演算処理装置8に送られ、表示データが移動通信端末本体1の表示装置3に表示される。

【0024】例えば、番号キー2の番号「2」が上方向、番号「6」が右方向、番号「4」が左方向、番号「8」が下方向へそれぞれ移動するように設定することができる。従って、表示装置3においては操作者の操作する、ゲームのキャラクター等を上記番号キー2の操作によって移動させるように表示することができる。

【0025】このようにゲームを行っている間、データ供給装置6による移動通信端末本体1、即ち携帯電話へのデータの供給は、携帯電話としての機能には関わらない。換言すると、移動通信端末本体1の記憶装置7に記憶されている電話帳等のデータはデータ供給装置6からデータが供給されたからといって失われることなく、電話として使用する際に必要なデータは記憶装置7に記憶されており、操作者の番号キー2の操作に応じて記憶されているデータが演算処理装置8に呼び出されることにより、携帯電話としての機能は果たすことができる。

【0026】例えば、番号キー2の中の「通話」キーを押すことにより、ゲームの最中においても電話として使用することが可能である。また受信に際しては、特別な番号キー2を操作することなく、いつでも受信が可能である。

【0027】従って、単独でゲームを行っているときに携帯電話として使用することは可能であり、ゲームによって携帯電話としての機能を妨げられることはない。

【0028】また、データ供給装置6を使用しないときには、データ供給装置6を移動通信端末本体1から取り外して移動通信端末本体1を単体で使うことができるので、邪魔にならない。

【0029】このように、本実施の形態のデータ供給装置によれば、使用者はデータ供給装置を移動通信端末本体に取付けるだけで、移動通信端末本体内部に何ら物理的な変更を加えることなくゲーム等のデータ供給装置に記憶されたデータを利用することができる。また、データ供給装置は移動通信端末本体に取付可能な程度の小型に形成することができ、従って複数種類のデータ供給装置を保持していても嵩張らず、従って邪魔になることなく持ち歩くことができる。

【0030】また、本実施の形態のデータ供給装置によれば、データ供給装置内部のプログラムは、移動通信端末本体の演算処理装置に依存しないため、移動通信端末本体の機種に関わらず同じプログラムを用いることができる。従って開発コストを低くおさえることができ、ひいてはデータ供給装置自体のコストも低くおさえることができる。

【0031】更に、データ供給装置は移動通信端末本体にデータを供給するだけで、通信とは直接関わらないため、使用者がゲームをしている時にも電話を受信或いは送信することができる。

【0032】上述の実施の形態においては、データ供給装置6を用いて移動通信端末本体1を単体で使ってゲームを行ったが、プログラムに通信プロトコル等の所定のデータを加えることによって、対戦型のゲームに適用することも可能である。その場合には、データ供給装置6を移動通信端末本体1に取り付け、移動通信端末本体1から対戦したい人へ移動通信端末本体1から電話等の機能を用いて通信することにより、他に機器を必要とすることなく対戦型のゲームを行うことができる。

【0033】また、上述の実施の形態においてはゲームのプログラムがデータ供給装置の記憶装置に記憶されている場合について説明したが、データ供給装置の記憶装置に記憶される、特殊機能を付加するためのプログラム

はゲームに限定されることなく、例えば辞書等のデータベースであってもよく、その場合には所定の番号キーによってデータベースから所望のデータの検索を行い、移動通信端末の表示装置で表示を行わしめることができる。

【0034】また、前記実施の形態においては、携帯式の移動通信端末本体として携帯電話を用いたが、パーソナルハンディホンシステム（PHS）等の他の携帯式の移動通信端末本体を用いてもよい。

10 【0035】更に、データ供給装置は移動通信端末本体にデータを供給するだけで、通信とは直接関わらないため、使用者がゲームをしている時にも電話を受信或いは送信することができる。

【0036】また、データ供給装置の他の実施の形態として、記憶装置と電極端子を具備し、演算処理装置を内蔵しないデータ供給装置とすることも可能である。その場合には、移動通信端末本体の演算処理装置を専用の演算処理装置と交換しなければならないが、データ供給装置は記憶装置を具備するので、移動通信端末本体の記憶装置を交換する必要があるないので、電話等の通信機能は失うことなくゲーム等を行うことができる。

20 【0037】

【発明の効果】本発明のデータ供給装置によれば、使用者はデータ供給装置を移動通信端末本体に取付けるだけで、移動通信端末本体内部に何ら物理的な変更を加えることなくゲーム等のデータ供給装置に記憶されたデータを利用することができる。また、データ供給装置は移動通信端末本体に取付可能な程度の小型に形成することができ、従って複数種類のデータ供給装置を保持していても嵩張らずに持ち歩くことができる。

30 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るデータ供給装置の一実施の形態を移動通信端末本体に取り付けた状態を示す正面図。

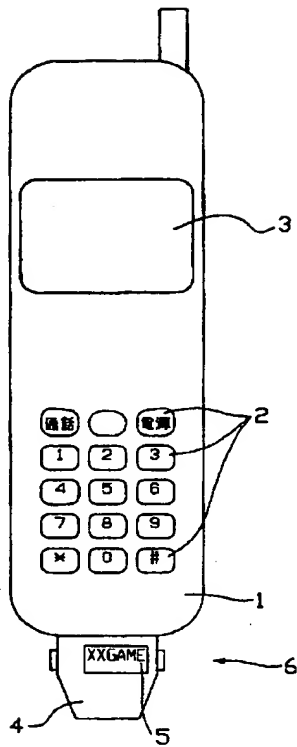
【図2】本発明に係るデータ供給装置と移動通信端末本体の内部接続構造を示すブロック図。

【図3】従来のゲーム装置の一例を示す正面図。

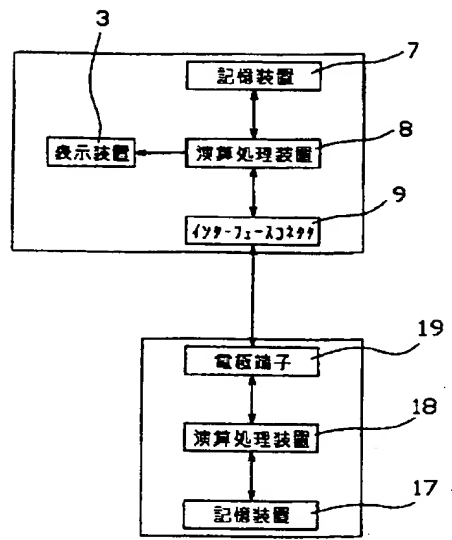
【符号の説明】

1 移動通信端末本体	2 番号キー
3 表示装置	17 記憶装置
40 18 演算処理装置	

【図1】



【図2】



【図3】

